

mgU×France

宮城学院で出会えるフランス的なものあれこれ



四大学交流 à 弘前

9月30日、青森県弘前市にて弘前大学主催の「フランス日
和〜マルシェ 2017」が開催され、慶應義塾大学、大阪産業
大学の学生と共に、宮城学院女子大学からも8人が参加。手
回しオルガンのブースを担当させてもらい、オルガンの製作
者である仙台在住のアーティストシマノユージさんの手ほ
どきを受けて、マルシェに音楽を届けました。夕方の大学間
交流会では、「パリ」と「仙台」を照らし合わせた MG 特製仙台
おすすめスポット地図を配布、「これを見て、仙台の街を訪
れてみたくなった！」とご好評をいただきました。貴重なマ
ルシェ体験と4大学交流で得た経験は、今後の学びや人生
に、おもしろいヒントを与えてくれそうです。

うふカフェ

大きな窓から差し込む光と
ウッドテイストのテーブル
や椅子が調和し、柔らかな
印象を醸し出す店内。学生
たちの自主活動を支援する
「さなぎプロジェクト」の一
環として、メニューから

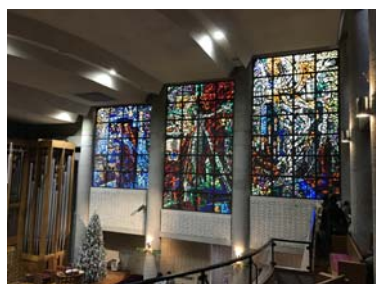


店内のインテリアに至るまで、
学生たちが考案しました。名前
の「Oeuf(うふ)」は、フランス
語の「タマゴ」に由来。気持ち
もほっこりするカフェスペー
スです。



ステンドグラス de 礼拝堂

世界的ステンドグラス作家ガブリエル・ロワール (Gabriel
Loire)。シャトルルに生きた稀代のアーティストによる三
枚の大作が、宮城学院礼拝堂にあります。厚さ2cmのダ
ル・ド・ヴェールのガラスで作られた「誕生」「十字架」



「昇天」の壮大な
図像から降り注
ぐあたたかな光
が、桜ヶ丘とフラ
ンスを、仙台と世
界を、つないでい
ます。

フランス語・文化を学ぶ

フランス語を四年間を通じて段階別に学べる仕組みが整って、
MG 学生のポテンシャルが開花。フランスの言語や文化の研究
をしたり、フランスを個人旅行で訪れたり留学したり、フラン
ス国民教育省が認定した唯一の公式フランス語資格検定
DELF や仏語検定に挑戦したり、さらには全国区のフランス語
弁論大会に挑戦したりなど、フランスとの関わりを通しておも
しろいことをみつけよう！という元気な学生を輩出していま
す。こうした流れでスタートしたのがこの、仙台にいながらに
してフランスを探す「仙台×フランス」プロジェクト。フラン
ス文化再発見の試みが新しい学びのフィールドを拓きます。

編集後記

私たちが求めている情報を引
き出すことや限られた字数の
中で沢山ある魅力を取捨選択
することが難しかったです。
(Interview ページ担当)

街で見つけたフランス語の意味
や特徴を1つ1つ調べるのが大
変でしたが、普段とは違った角
度からフランス語について勉強
することが出来て良かったです。
(IzumixFrance ページ担当)

デザインやレイアウトは、この
冊子を手にとってもらえるかど
うかを左右する重要なポイント
になるので、パッと目を惹くよ
うなデザインを意識して作成し
ました。(Design 担当)

Word で瓦版にチャレンジ。こ
こまでできてホッとしています。
今回は泉区を中心に取材し
ましたが、カフェがたくさんあ
る仙台の街の「フランスっぽ
さ」もっと探訪したい！(YM)



Sendai France ! 2017 年 12 月 17 日発行

発行：宮城学院女子大学 “仙台×フランス”プロジェクト 連絡先：masesemi17@gmail.com

編集長：石川祥江 副編集長：塩谷めぐみ 編集部員（五十音順）：奥山紗枝・片岡杏友・齋藤ひなの・澤村靖子・鈴木ひかり・鈴木由衣・長谷寛子・森谷晴花



Sendai France!

Bonjour !

フランス語を勉強している私たち宮城学院女子大学の学生たちが、仙台に潜む「フランス」を探しに街歩きをしました。

このニュースレターでは、その中から仙台市泉区を中心に、建物に付けられているフランス語の特徴やフランス文化、そして宮城学院と関係しているフランスについてご紹介します。皆さんも一緒に、仙台の中のフランスを見つけてみませんか？

